



当市議会では、6月・9月・12月の各定例会において市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関からの報告・説明などを求める一般質問が行われています。一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は30分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、11名の議員が質問しました。

| 質問者                 | 質問項目                                                                                                   |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 藤田 哲也<br>(市民ネットワーク) | ハンターの担い手確保 保育環境の整備 キツネによる感染症の予防等 SNS 広告を活用した観光情報の発信                                                    |
| 柴田 文男<br>(21フォーラム)  | 広域行政の推進 滝川市立病院の経営                                                                                      |
| 福井 雅章<br>(新政会)      | 市立病院の医師確保 医療人材確保                                                                                       |
| 寄谷 猛男<br>(日本共産党)    | 自衛官募集事務に係る個人情報の提供 若者に対する支援 在宅診療 こども誰でも通園制度 不登校児童生徒の健康 図書館司書の待遇                                         |
| 荻野 仁史<br>(市民ネットワーク) | 滝川ふれ愛の里とB&G海洋センターの連携 滝川ふれ愛の里の空きスペースの活用                                                                 |
| 三上 裕久<br>(公明党)      | 企業版ふるさと納税 旅先納税の導入 子ども医療費の無償化の拡大 猛暑による市民の安全確保対策 難聴者への対応 業務記録システムの導入 市道の補修計画 道路標識、スノーボールの管理 市立学校における猛暑対策 |
| 高橋江海子<br>(れいわ新選組)   | 市職員の労働環境 指定喫煙所の試験導入 相談支援専門員や言語聴覚士などの人材確保 障がい児通所支援サービス 3歳児健診 子ども達の心身の健康と学習環境 部活動の地域移行                   |
| 木下八重子<br>(市民ネットワーク) | 公営住宅の建て替え 市立病院自動精算機                                                                                    |
| 堀 重雄<br>(公明党)       | 書かない窓口 身寄りのない高齢者に対する支援                                                                                 |
| 好川 章<br>(新政会)       | 農業の担い手の確保                                                                                              |
| 荒木 文一<br>(市民ネットワーク) | 旧広域消防庁舎 病院事業債 許可病床の削減 救急医療                                                                             |

## 第2回定例会 一般質問から

### ハンターの担い手 確保について



藤田 哲也（市民ネットワーク）



**問** ハンターの担い手確保の取り組みについて伺う。

**答** 市では猟銃許可や猟銃所持許可証の取得費用補助制度を開始し、鳥獣被害防止対策協議会が若手に技術を伝授しています。

**問** 市内の保育施設選択の環境について伺う。

**答** 保護者の希望する保育所入所を目指し、透明性確保や保育士増員に努めますが、定員の関係で希望に添えない場合もあります。

**問** リアルタイムで保育所の空き状況を確認できるサイトの導入について伺う。

**答** 透明性確保の観点から、保育の必要性を判定する選考基準の公表準備を進めるとともに、ホームページやSNSを活用し、入所手続き等の不明な点などを解消できるよう工夫していきます。

### 広域行政の推進に ついて



柴田 文男（21フォーラム）



**問** 人口減少が続けば中空知圏域における住民サービスが滞るだけでなく、広域行政そのものが維持できない事態を招くことになり、上下水道、廃棄物処理など、すぐにでも適切な対応が必要であるが、考えを伺う。

**答** 持続可能な圏域をつくるため、より大きく連携すべきとの考えはこれまで同様変わっていません。中空知広域市町村圏組合などの協議の場面を活用しながら、危機感を持って対応していきます。

**問** 医師不足による病院経営への影響と今後の課題について伺う。

**答** 内科医2名、外科医1名の減少は入院患者の受け入れに多大な影響を与えています。様々なパイプを用い、医師確保に最大限努力していきます。

### 市立病院の医師 確保について



福井 雅章（新政会）



**問** 前年度に比べ医師減少で厳しい状況である今、市立病院の健全経営を守る立場として、市による医師報酬のさらなる予算措置等の決断が必要と考えるが、見解を伺う。

**答** 喫緊の課題として医師確保に努めています。病院会計は、独立採算制を基本原則としていますが、中には一般会計等において負担できるものがあり、これまで同様協議を進めたいと考えています。

**問** 医学大学の医師不足により市立病院の常勤医師に欠員が生じた場合、民間紹介会社などを積極的に活用して招聘を目指すとするが、現況を伺う。

**答** 民間紹介会社を活用して、通算3名の医師を採用しました。また、今年度より多様な働き方に対応できるような医師募集も始めており、鋭意採用につなげていきます。

### 自衛官募集における個人 情報の保護について



寄谷 猛男（日本共産党）



**問** 自衛官募集事務に関わる対象者情報の提供については、個人情報の提供を望まない市民のために除外申請制度を設けるなど個人情報の保護に向けた手立てを要するべきと思うが、市の考えを伺う。

**答** 昨今の個人情報に対する意識の高まりを踏まえ、市民の皆様からご相談いただけるようホームページ等で周知を行います。除外申請制度につきましては、市民の皆様の意向を確認しながら引き続き対応を検討していきます。

**問** 不登校の子どもたちの健康診断の機会の保障について伺う。

**答** 普段行くことができない学校へ健康診断のために行くことに不安や困難さを感じさせてしまう場合もあり、適切に健康診断を受診できるための工夫も必要であると認識しています。

### ふれ愛の里とB&G海洋 センターの連携について



荻野 仁史（市民ネットワーク）



**問** B & G海洋センターの令和9年リニューアルに向け、滝川ふれ愛の里とB & G海洋センターの連携による外客誘致や集客力アップ等の方法を現段階で何か考えているのかを伺う。

**答** 令和7年度以降の指定管理者と協議を行い、滝川ふれ愛の里の利用促進に向けた取り組みを始め、時期を見ながら集客方策の具現化に取り組んでいきます。

**問** 滝川ふれ愛の里の2階に現在利用していない約100畳の部屋があるが、今後の活用方法について伺う。

**答** スペースの有効活用を図ることは公共施設の利用、また魅力度を高めるためにも重要であると認識しています。今後は次期指定管理者の選定手続きを進める中で具現化をしていきたいと考えています。

### 猛暑対策について



三上 裕久（公明党）



**問** 熱中症防止のため、夏日を越える一定期間、庁舎の空き会議室や食堂階を市民へ開放することへの見解を伺う。

**答** 会議室等は、職員等の目に触れがたい閉鎖的な空間であり、防犯上の観点から市民の方々への開放は、難しいと考えています。

**問** 各学校のエアコン設置状況と未設置校への対策や屋内・屋外の活動における熱中症対策を伺う。

**答** 第一・第二・第三・西小学校は、6月末に工事が完了し、7月から稼働できる予定で、残りの小中学校5校については、今年度中に設置を完了するよう進めます。未設置校では、移動式クーラーと扇風機で猛暑対策を行います。また、「暑さ指数計」を各校に配置し、基準値を超えた場合、日常生活を含む他の活動を中止します。

## 第2回定例会 一般質問から

### 有資格者の 人材確保について



高橋江海子（れいわ新選組）



**問** 本市では障がい児福祉の需要が年々増加している一方で、有資格者の退職が相次ぎ、現場からは悲鳴と保護者からは不安の声が聞こえてくる。療育は、学校や社会生活での生きつらさの軽減につながる大切な子育て支援であるため、官民連携を含めた早急な対策が求められるが、考えを伺う。

**答** こども発達支援センターの言語聴覚士の募集は以前から行っているものの、なかなか適任がおらず苦慮しています。正規職員を募集する等、今後も各事業所や養成校等と連携を深め、人材育成も含めて鋭意取り組んでいきます。ハンディキャップのあるなしに関わらず、行政と保護者が手を携えて全ての子ども達をまち全体で育てる雰囲気を作るべく、これからも努力していきます。

### 公営住宅の 建て替えについて



木下八重子（市民ネットワーク）



**問** 江南団地の建て替えは、令和8年度の予定となっているが、老朽化が著しいため、計画を前倒して実施する考えはないのかを伺う。

**答** 現在の公営住宅等長寿命化計画では、江南団地の整備は開西団地の建て替え完了後に着手する予定であり、工事費の上昇なども考慮すると計画を前倒して実施することは困難であると考えています。

**問** 市立病院では自動精算機の導入から2か月が経過したが、導入前後を比較してどのような利便性が図られたのか。また、利用者の反応はどのように捉えているのかを伺う。

**答** 会計を待つ混雑の緩和が図られ、また、利用者の反応についても機械の操作への抵抗感や大きなトラブルもなくスムーズに稼働しています。

### 書かない窓口について



堀 重雄（公明党）



**問** 書かない窓口が本年よりスタートしたが、市民と従事する窓口職員の反応はどのように捉えているのかを伺う。

**答** 新たな窓口をスタートさせてから5か月が経過し、順調に運営できています。昨年の検討過程で窓口運用を整理し、シミュレーションを繰り返し行った成果と受け止めています。また、窓口利用者のアンケート結果によると、8割近くの方に満足をいただいています。

**問** 書かない窓口の設置により、お悔やみ手続きはどのように変わったのかを伺う。

**答** 現在、死亡届提出後の関連手続きの受付も含め、より分かりやすく、負担の少ない窓口運用の開始に向け検討を始めており、関係所管課と業務の手続きなどを確認し、整理を始めているところです。

### 農業の担い手 確保について



好川 章（新政会）



**問** 農業後継者の確保について地域おこし協力隊の制度を利用し、今後も担い手確保に取り組むのかを伺う。

**答** 過去5年間の離農件数は、74件となり、今後も増えていくことが懸念されることから地域おこし協力隊制度を活用した第三者経営継承を推進し、法人化支援など多角的に農業の担い手確保に取り組んでまいります。

**問** 経営規模拡大が進む中で、農機具の更新、生産資材・燃料の高騰等、厳しい状況が予想されるが、今後の対策について伺う。

**答** 物価高騰対策として、国や道に支援を要望し、農機具等の更新に際しては国の補助制度などの活用があります。関係機関と連携して農作業の省力化技術の普及を引き続き図っていきます。

### 旧広域消防庁舎に ついて



荒木 文一（市民ネットワーク）



**問** 本市の財産となった旧消防庁舎の処分や活用は考えているのか。また、解体後の想定費用を伺う。

**答** 公共施設個別施設設計画上では除却と位置付けており、解体費用は概ね1億円程度を想定しています。

**問** 市立病院の許可病床の削減について、財政的なメリット、デメリットを伺う。

**答** 許可病床を削減することにより外来増収効果が期待できるものは想定できず、地方交付税も減額されます。また、入院稼働病床のさらなる減少や医歯大学からの派遣医師確保への影響も懸念されます。

**問** 医師数減による救急医療への影響と市民への周知について伺う。

**答** 医師の負担が増加していますが、利用者への影響はないと認識しています。市民への情報提供について検討していきます。

